

箕島学区まちづくり計画

～みんなでつどえる安全で安心なまち～



箕島学区まちづくり推進委員会

ふく やま し みん けん しょう 福 山 市 民 憲 章

わたし
私たちは

めぐ しまれた しぜん なか そだ たくやま しみん
恵まれた自然の中に育った 福山の市民です

私たちの福山市は

たくましい市民のふくつ せいしん 精神によって築かれ

おお はってん きぼう まち
大きく発展しつづけている希望の町です

私たちは福山市民であることにほこ せきにん
誇りと責任をもち

たが
お互いのしあわせをねがい よい市民となるために

しみんけんしょう さだ こころ
市民憲章を定め 心のよりどころとします

1 こころ たいよう 胸をはって げんき はたら
心に太陽をもち 胸をはって元気に働きましょう

1 ちい しみんせつ 勇気をもって いく
小さな親切を 勇気をもって行ないましょう

1 きまりをまも せいじかん
きまりを守り よい習慣をつくりましょう

1 こ どもたちのために あか かにい うつく まち
子どもたちのために 明るい家庭と美しい町をつくりましょう

1 ぶんか そだ けんこう へいわ しゃかい きず
文化を育て 健康で平和な社会を築きましょう

1 じんけん さんちよう さべつ にんげんかんけい
人権を尊重し 差別のない人間関係をつくりましょう

ふくやまし ふくやまあか きょうぎかい
福山市・福山明るいまちづくり協議会

= じんけん さべつ あ ことば
= 人権は 差別をなくす 合い言葉 =

目 次

- 1 はじめに
- 2 アンケート調査及びまちづくり交流会からみる
箕島の現状と課題
- 3 まちづくりの現状と課題
- 4 まちづくりに対する住民の期待と考え方
- 5 まちづくりの基本的な考え方
- 6 まちづくりの推進体制
- 7 まちづくりの目標
- 8 まちづくりの果たすべき役割
- 9 箕島学区の地域まちづくり計画（分野別）
- 10 まちづくり計画策定の経緯

資料1 箕島学区まちづくり推進委員会組織表

資料2 2013年度箕島学区まちづくり推進委員会委員名簿

資料3 アンケート結果の概要

資料4 地域活動写真

1 はじめに

2006年度より、住民主体の地域づくりに向けて、協働のまちづくり事業が開始され、箕島学区の活性化に向けた事業や地域課題に取り組む事業、コミュニティの育成に取り組む事業などを対象とした各種事業に取り組んできました。

箕島学区では、「ふるさとまつり」「盆踊り大会」「運動会」など地域の活性化に向けた事業を中心に、地域の歴史や史跡など新たに確認し、自分達の住んでいる地域を再認識しようという活動を進めてきました。また、キーワードモデル事業では、安心・安全活動としてベストや帽子の作成をはじめ、小学校130周年記念の際に撮った航空写真を使ったクリアファイルの作成、防災倉庫・史跡標柱の設置、郷土資料誌の再版配布、防災マップの作成配布、箕島八十八ヶ所めぐりマップ作成等を実施してきました。

2008年、箕島学区の現状を把握するため、各自治会・各種団体を対象にした、住民アンケートを実施しました。特徴的なことは、工業団地の立地にとまなう環境の悪化・不法投棄ゴミの増加があげられ、まちづくり推進委員会の環境・衛生部会を中心に取り組みをすすめてきました。今回のアンケート調査でもその改善・評価が多くの方から認められています。

2013年度から始まった「第二次福山市協働のまちづくり行動計画」では、これまで実施してきたまちづくり推進事業を、各学区単位で整理し、福山市制100周年となる2016年度までを目標に新たに「まちづくり計画」を策定することとなりました。

2 アンケート調査及びまちづくり交流会からみる現状と課題

(1) 箕島の現状

ア 世帯数・人口については、徐々にではあるが増加傾向にあり、若い人たちの転入が見られる。現在では892世帯数、人口2,255人です。

(2013年4月1日)

イ 高齢化の傾向は、変わらない。

ウ 海あり山ありで自然環境には恵まれている。また畑も多く、新鮮な野菜果物などが食べられる。

エ 海拔60～70メートルの高台があり、津波などの際の避難場所がある。

(2) 箕島の課題

ア 商店・病院・公共施設などが少ないため、不便。

イ 交通の便が悪く、買い物・病院通いなど大変不便。

ウ 工業地帯が近隣にあるため、公害など環境上の問題がある。

エ 埋立地も多く、海拔0メートル地帯があるため、安心できる災害時の対応が必要。

3 まちづくりの現状と課題

(1) まちづくりの現状

箕島学区では、2006年「箕島学区まちづくり推進委員会」を設立
6部会・18団体で構成している

各団体は、地域行事の主な担当を受け持ち、推進役として活躍している。

※ まちづくり推進委員会の組織表 資料1

(2) 各部会の実施している主な事業

ア 安心・安全・環境衛生部会：

安全パトロールの実施、安全講演会の開催、交通安全活動各種、
不法投棄パトロール・随時対応処理、除草剤散布

イ 地域福祉部会：

高齢者見守り活動、子どもの健全育成、ボランティア活動

ウ 体育スポーツ部会：

運動会の主催、グラウンドゴルフ開催、ボーリング大会

エ 生涯学習部会：

自治会活動全般、人権推進教育、女性会活動、老人会活動

オ サークル部会：地域のグループによる諸活動

カ 事務局(会計・広報)：推進委員会全般の事務

(3) まちづくりの課題（アンケート結果より）

ア まちづくり活動に協力的な人は30%であるが、反面仕事の都合や高齢化の
ため20パーセントの人たちが参加できないとしている。

イ 公害など環境が悪い。

ウ 道路・交通の便が悪く車の運転が出来なくなったらどうしようと思っている。

エ 地域行事が多く大変だ。

オ 医療・福祉施設が無く遠方まで出向かなければならない。

カ 公共施設（体育館・図書館など）が無い。

キ 近所の付き合いが希薄。

ク 地震発生により、津波が来たらどこに避難したら良いか迷っている。

4 まちづくりに対する住民の期待と考え方

- (1) 安心で安全に暮らせる地域づくり
 - ・ 東南海・南海トラフ地震にともなう津波発生時の防災対策が必要だと思っている。
 - ・ 通院や買い物に不便を感じている。
 - (2) 隣近所がお互いに仲良く暮らせる地域にしたいと思っている。
 - (3) 高齢者増加にともなう対応をどうするか皆で考えたいと思っている。
 - (4) 環境改善に向けた協力体制はこれからも続けたいと思っている。
- ※ アンケート結果の概要 資料2

5 まちづくりの基本的な考え方

- (1) 計画策定の趣旨

この計画は、これまでの成果や課題を踏まえ、今後さらにまちづくり活動の推進を図るために主役である住民の幅広い意見をもとに、学区のまちづくりの将来像をまとめ、「まちづくり活動」の「道しるべ」として示すものです。
 - (2) 計画の性格

今後のまちづくり活動の指針とするとともに、住民の方々の幅広い活動目標になることを期待するものです。
 - (3) 目標年次

このまちづくり計画は、2023年度を完成目標年度とします。
 - (4) 計画の見直し

実施した活動成果を適切に評価するとともに、住民の要望を的確に捉え必要に応じて見直しを図るなど、行政や関係団体とともにより実効性のある活動を実施します。
- ※ 地域活動写真 資料3

6 まちづくり推進体制

これからのまちづくり推進体制は「みんなでつどえる安全で安心なまち」づくりをめざして、住民の皆様からの意見を取りまとめ、まちづくり推進委員会各団体および自治会連合会と連携しながら進めます。

7 まちづくりの目標

「みんなでつどえる安全で安心なまち」をつくろう

【活動方針】

課題を解決するため、次の4つの活動方針を定め、まちづくりを進めます。

- (1) 人々がつどい語り合えるまちづくりを進めます。
現在実施しているふるさとまつり・盆踊りなどの行事に加えて、各地域ごとの茶話会などが出来る居場所づくり・機会づくりを進めます。
- (2) 安全で安心なまちづくりを進めます。
東南海地震にともなう安全の確保、また地球温暖化にともなう様々な災害への対応、防犯等についても皆で考えて進めます。
- (3) 現在ある自然環境を皆で守ってゆくまちづくりを進めます。
定期的に地域一斉清掃などを継続するとともに、環境パトロールを中心とした環境改善に努めます。
- (4) 高齢化にともなう協働のまちづくりを進めます。
地域の立地条件を整理し、高齢者が元気で生活できるシステムづくりを考えて進めます。

8 まちづくりの果たすべき役割

- (1) 住民の要望に沿った継承事業
 - ア 運動会・ふるさとまつり・敬老会・盆踊り大会などの継承事業を充実します。
 - イ 防犯パトロール・朝の挨拶運動・子どもの見守り活動・まちづくり交流会などをさらに充実します。
- (2) 住んで良かったと実感できるまちづくりの創造
 - ア 高齢化が進む中、誰もが元気で安心して安全な生活を営むことができ、住んで良かったと思えるまちづくり活動に努めます。
 - イ 郷土の資源・環境の保全に努め、後世につなぐふるさとづくりに努めます。
- (3) 住民の「協働のまちづくり」への意識改革
 - ア これまでの行政主導のまちづくりから、地域と行政がお互いの責任と役割を分担しながら地域の特色をいかした住民主導のまちづくりへの意識改革を図り、実践活動をとおして根づかせます。

9 箕島学区地域まちづくり計画（分野別）

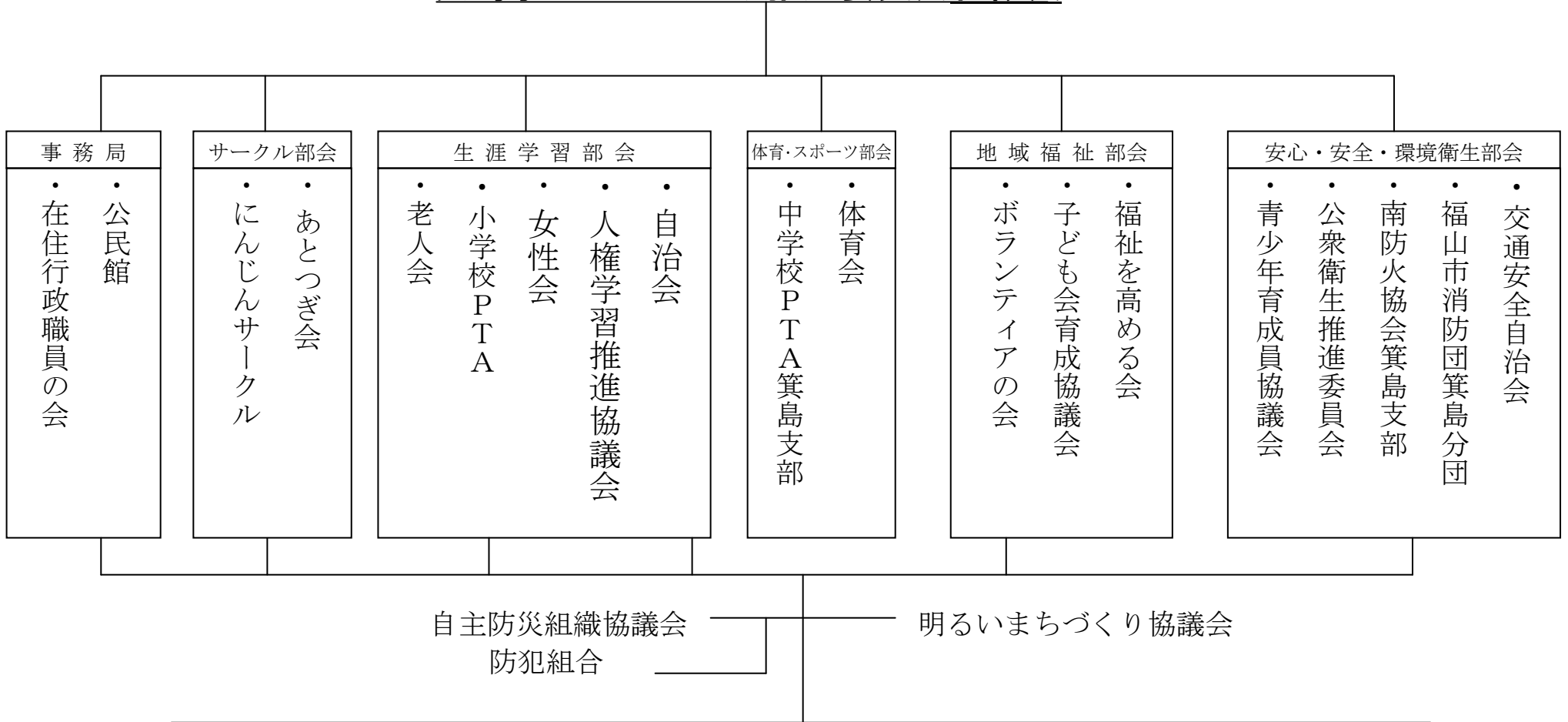
分野	事業名又は事業内容	役割分担 (誰が行うのか)		目標達成期間		
		学 区	協 働	短 期	中 期	長 期
安全・安心	子どもの登下校見守り活動	○				○
	朝の挨拶運動	○			○	
	夏季防犯パトロール	○			○	
	通学路の安全監視	○				○
	危険通学路の改善		○		○	
	災害時の避難通路の設定整備		○	○		
	火災発生時の初期対応	○		○		
福祉・健康	高齢者の見守り活動の充実	○				○
	お助けの会の充実		○	○		
	学区運動会の継続	○				○
	老人クラブグラウンド [※] ゴルフ活動	○				○
	女性会バレーボール教室	○			○	
	学区民ゴルフ大会の充実	○			○	
	災害時要援護者の支援活動		○			○
	元気広場の活性化		○		○	
	史跡めぐりの実施	○		○		
	子ども達への歴史継承	○			○	
	各地区祭典の継続	○				○
	とんど祭の継続	○				○
	しめ縄作りの継承	○				○
	ミニ松竹梅づくりの継承	○			○	
	郷土資料館の維持管理	○	○	○	○	○
環境	地域一斉清掃の実施	○				○
	公園・道路脇の除草作業	○				○
	公園花壇の整備	○		○		
	不法投棄パトロールの実施	○		○		
	家庭ごみ分別の徹底	○		○		
	芦田川一斉清掃への協力		○			○
	不法投棄物の処理		○			○
活力	ふるさとまつりの継承	○				○
	慰霊稗・盆踊り大会の継承	○				○

※ 短期：2013年度～2015年度（3年間）

中期：2013年度～2018年度（5年間）

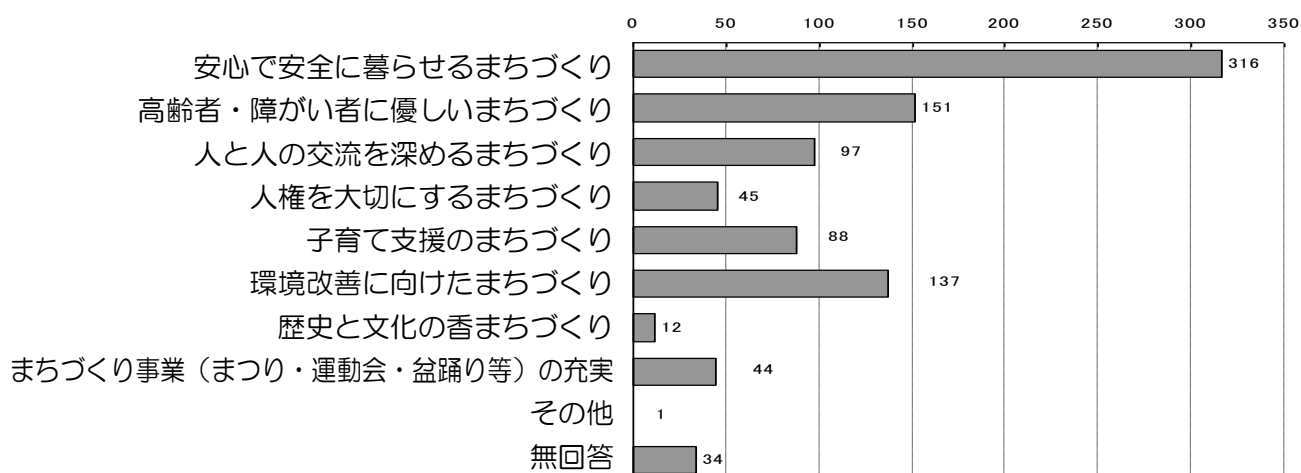
長期：2013年度～長期継続的に取り組む

箕島学区まちづくり推進委員会組織表

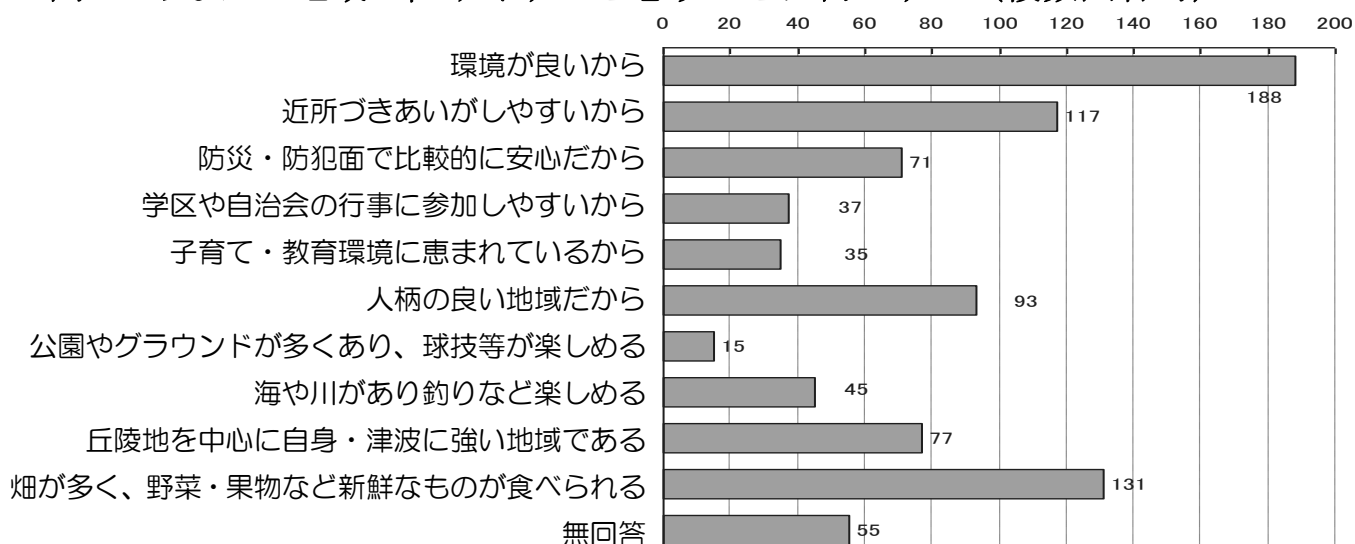


まちづくり推進委員会全体で取り組む活動：運動会・盆踊り大会・ふるさとまつり

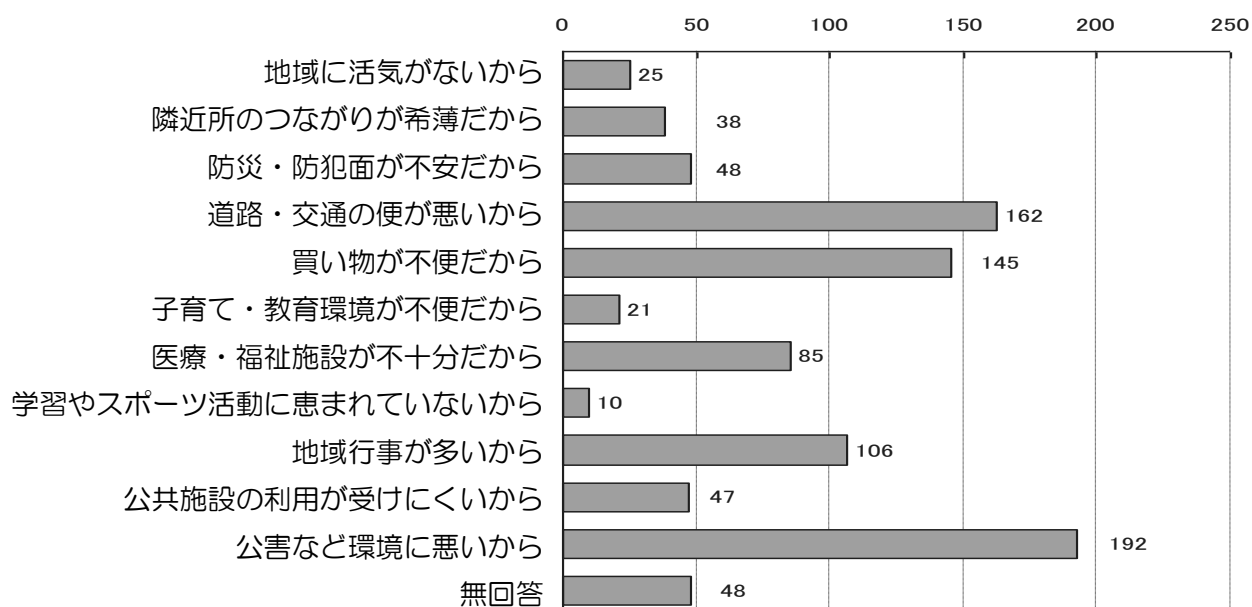
問5 これからのまちづくりにおいて、特にどのような取り組みを優先したらよいと思われませんか（三つ以内を選び○を付けてください）



問6 あなたの地域が住みやすいと思うことは何ですか（複数回答可）



問7 あなたの地域が住みにくいと感じられることは何ですか（複数回答可）





茶話会



こども料理教室



盆踊り大会



料理教室



ふれあいコンサート



高齢者健康促進（元気広場）



クリスマス会



しめ縄づくり